



Race Report

27-28 August 2011 / Super Taikyu Series Round_3 Okayama

TWS TRACY C-WEST LEXUS IS350 トラブルを抱えながらも、7位完走

【Result】

08.27 Qualify : 5 th / 3'45"933 (1'56"900 (吉本大樹) / 1'49"033 (小林敬一選手))

Starting Grid : 5 th

08.28 Final : 7 th

Super Taikyu Series Round_3
2011.08.27-28 (Sta-Sun)

■【天候】 雨/曇 【コース】 ウェット/ドライ

シリーズ第2戦が行われた富士から約1カ月、スーパー耐久シリーズ第3戦が岡山国際サーキットを舞台に開催された。

週末を通して目まぐるしく天気に変化した岡山国際サーキット。2dayイベントの初日となった土曜日の公式予選は、その天候に結果が大きく左右される展開となった。まずAドライバー予選に挑んだのは吉本大樹。しかしこのセッションでは開始と同時に空からいきなりの豪雨が。そのあまりの激しさに赤旗が出される事になり、セッションは20分間に渡り中断される。その後雨が上がりセッションが再開されるもコンディションはウェット。この難しいコンディションの中、レインタイヤを履いて再度コースへと出た吉本は「こういう時にこそタイムを出したかった」とアタックへ向かい、結果3番手のタイムをマーク。ドライコンディションではまだまだ他のマシンとの差が大きい状態ながら、不安定なコンディションを逆手にとりまずはトップ3につけ、ステアリングをBドライバー予選に出走する小林選手へと託していく。

そして迎えたBドライバー予選。ST3クラスのAドライバー予選終了から15分のインターバルで始まったST1.2クラスのBドライバー予選では、徐々にコースが乾いていきスリックタイヤでのアタックを行ったマシンが上位を占めた。するとST3クラスのBドライバー予選ではほとんどのマシンがスリックタイヤでのアタックを選択。さらに後半になればなるほどコース状況が良くなると踏んだ何台かのマシンがピットで待機する光景も。しかしこの週末の天候の不安定さはそんな各陣営の思惑を一瞬にして壊していく。なんとまたしてもいきなり激しい雨が降り始め、セッション開始からこの豪雨降り始めまでの1ラップで計測が出来たマシンが上位を占める事に。しかしTWS TRACY C-WEST LEXUS IS350の小林選手はこのタイミングでのアタックが出来ず結果は8番手。3番手につけた吉本のタイムとの合算タイムでは5番手となり、翌日の決勝は5番グリッドから3時間のレースに挑むこととなった。



11' Super Taikyu Series Round_3 / Okayama

2011.08.27 (Sta) Qualify

Text : www.hiroki-yoshimoto.com

【tracy sports Official Site】 <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~tracy-sp/>

【Super Taikyu Series Official Site】 <http://www.supertaikyu.com/>

【吉本大樹 Official Site】 <http://www.hiroki-yoshimoto.com/>

PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&I

VAPSn XPEL
Car Protection Specialist

osaka hall

TAKAI
CORPORATION INC.

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

PARTNERS

PLAT2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED



Race Report

27-28 August 2011 / Super Taikyu Series Round_3 Okayama

Super Taikyu Series Round_3
2011.08.27-28 (Sta-Sun)

一夜明けて迎えた決勝日。前日はフルウェットのコンディションからスリックタイヤでの走行が出来る状態まで、目まぐるしくコンディションが変化した岡山国際サーキット。この日も朝の時点で空には大きな雲が流れており、TWS TRACY C-WEST LEXUS IS350は空の様子と睨みあいながら望みの雨を祈りながら決勝スタートの時を待つ事に。それでも気温は朝からぐんぐん上昇し、スタートを控えた段階で気温は32度、路面温度が38度という厳しい条件に。雨が振っても降らなくても過酷なレースとなる事が予想された。



TWS TRACY C-WEST LEXUS IS350はフリー走行後には「まだまだ他のマシンとの差はあるし厳しいレースになる」とコメントを残しながらも、5番グリッドからのスタートとなる決勝では粘り強く追いつけていく事を期しマシンをグリッドへ。しかし決勝スタートから数周を終えたところでいきなりマシントラブルが出てしまう。メインスイッチの接触不良が原因か、スタートを担当した小林選手から無線で「電源が落ちる」との報告が入り、キルスイッチを切ったり入れたりしながらマシンをストップさせない様に何とか周回を重ねていく事に。ところがこれと同時に燃料はきちんと入っているにも関わらずガス欠の様な症状に見舞われるトラブルも併発し、序盤から満身創痍の状態でのレースを余儀なくされてしまう。

このトラブルは第2スティントを担当した佐藤選手にドライバーチェンジをした後も症状が消えず、何とか走行は続けていくもこの時点で前を行くマシンとの差は1ラップ強にまで広がってしまう。そこでTWS TRACY C-WEST LEXUS IS350は吉本大樹が担当する最後の第3スティントではテスト的な意味合いも含めタイヤを交換せずに走行を続ける事に。しかしマシントラブルは一向に収まる気配がなく、ピットアウト後全くエンジンが吹けず、ピットから出たすぐの1コーナー先でマシンがストップ。ギリギリの状態でも何とか走行は続けてきたものの、「もはやここまでか・・・」と思われた。しかしそれでもチーム陣営と吉本は、マシンを停めたそのままの状態でも無線でピットと交信を続け、ピットからの指示で幾度もエンジンの再始動を試みていく。するとこれが功を奏しエンジンの再始動に成功し、再度コースへと復帰していく。

しかしその後も正常にエンジンが吹けない状態が続き、序盤から出ていたガス欠症状もさらに酷くなってきた為、吉本は一旦ピットイン、ここで燃料ポンプを交換を15分程で済ませ、もう一度コースへと復帰する。しかし結局「最後までエンジンの吹けは完全ではなかった」と完全にはトラブルが改善されず。それでも吉本はマシンを労わりながら何とか周回を重ね、最後はデフトラブルと戦いながらも7番手のポジションでチェッカーフラッグを受ける事となった。

11' Super Taikyu Series Round_3 / Okayama
2011.08.28 (Sun) Final
Text : www.hiroki-yoshimoto.com

【tracy sports Official Site】 <http://www5d.biglobe.ne.jp/~tracy-sp/>
【Super Taikyu Series Official Site】 <http://www.supertaikyu.com/>
【吉本大樹 Official Site】 <http://www.hiroki-yoshimoto.com/>

【吉本大樹コメント】

これまでのレースでは開幕戦は車両に対して負担の少ない雨でのレース。そして第2戦の富士ではドライの中、レース3分の2の時点でフライホイール破損からリタイヤ。ドライレースを走り切る距離を一度に走った事がない状況で迎えた岡山。新規参戦車両のIS350はまだまだ開発が必要な状況なので同じST3の他車から遅れを取っていても仕方ないのですが、もっとスピーディーに特認を許可してもらわないとどこへ行っても3秒遅れてしまうのが残念な所です。それでもチームスタッフは少しでも車を良くしようと努力してくれていて、今回、なんとか完走が出来ました。もちろんレースなので勝負してナンボですが、マシンは確実に進化していますのでシリーズ終盤までにどれだけマシンのレベルと信頼性を上げていけるかですね。

次の鈴鹿も我々のホームなので良いレースをしたいと思います。

PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&I

VAPSn XPEL
Car Protection Specialist

osaka hall

TAKAI
CORPORATION INC.

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

PARTNERS

PL0T2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED